

時を逃がさず、手をかけ育てる

黄色く色づいたマロニエの葉が一枚一枚と園庭に広がり、季節の移ろいを映し出しています。

先日の「収穫祭」は、お天気に恵まれ、秋の産物をお腹にいっぱいにして、楽しいひと時を過ごすことができました。秋刀魚はお父さんたちの手でおいしく焼きあがり、お母さんと子どもたちで作った豚汁には保育園の野菜も入りました。昨年に秋に漬けたんだたくあん漬やほたる組の子どもたちが漬けたみを手伝った白菜の漬物の味も手ごろでした。子どもたちは素材の味を知っていて、特に漬物の味はよく知っています。

これから晩秋に向かい、畑も冬の

準備です。楽しみにしている落花生を収穫します。そして、えんどう豆をまき、たまねぎも植えます。時を逃がさず、手をかけ育てます。子どもたちの元気な歓声を聞きながら、「あいあい畑」で育ててほしいと思います。

『スローな子育て・秋フェスタ』
(子育て支援団体・NPO法人CASN主催)が今月十六日に当園で開かれます。多くのみなさんの参加をお待ちしています。



「秋の収穫祭」

